

1940年代の金融仲介構造
—1941～48年度末の資金循環統計の推計—

宇都宮浄人

〈要旨〉

本稿では，公表データも先行研究もない1941年から1948年度までのストックベースの資金循環統計の推計を行い，戦前期から戦後にかけての金融仲介構造の変化を分析する．この結果，1937年以降直接金融システムから間接金融システムに変化を開始したこと，しかし，大きな変化は終戦近く運転資金中心の借入によってもたらされたこと，戦後初期は金融資産残高が実体経済との対比で大きく落ち込む一方，現金の相対的な割合が突出して高まったことなどがうかがえる．